

11

HIGASHI COMPASS

junior high school

2025年
11月28日

皆で創る学園祭

校長 林 武宏

本年度の学園祭も、生徒たちの頑張りと保護者の皆様のお支えにより、大変ににぎやかで楽しい催しとなりました。とりわけ、学園をサポートする会の学年リーダーの方々には、1学期よりご尽力いただき、感謝の念でいっぱいです。誠にありがとうございました。どういうわけか、やはり学園祭も雨。直前でのレイアウト変更により、準備段階でもご迷惑をおかけしましたし、食事場所の確保など運動場が使用できないことでの難しさも多くありましたが、それでも生徒たちの笑顔があちらこちらで見られる、楽しい一日になりました。

さて、本校にはいわゆる「PTA」組織は存在しません。名称は学園をサポートする会と変更になりましたが、従来より変わらず、「できる人ができることをしましょう」「活動のために何かを犠牲にしない」というスタンスで、学校のサポートをお願いしています。PTAではありませんので、学校行事の運営補助や広報誌の作成、子どもの防犯や安全を守るためのパトロールや登下校の見守り、バザーや廃品回収・清掃活動など多岐にわたる活動をお願いすることはありません。毎月、数回の会議が開催され、時間的にも相当に拘束されるPTAの役員活動を小学校時代に経験された方もおられると思いますが、そうしたことも当然ありません。基本的にすべての行事は生徒と職員によって企画運営されており、保護者の皆様にはご家庭における生徒のサポートをお願いしています。そして唯一の例外が、この学園祭ということになります。

本校の学園祭は、各教科の展示や生徒による探究科のプレゼンテーション、そしてCDEクラスの劇発表と、日頃の学習の成果をしっかりと打ち出すかなり正統派の文化祭です。学習発表のプログラムが多いこともあり、3年生のABクラスの生徒は催し当日には運営側での動きを中心に活動してもらいますが、それでもやはり手が足りずに、保護者の皆様のサポートをいただいています。ただ、当日お手伝いいただいた保護者の方からの感想として、「皆楽しそうにできて嬉しかったのと、息子や息子の友達ともふれあえて親としても楽しい時間を過ごさせていただきました」「母のお手伝いも日頃お話しできない保護者の方々とお話しでき、楽しくやらせていただきました」「子どもたち、保護者、来校者との関わりや喜びの様子が見られて充実した時間を過ごせました」「子どもたちと大盛り上がりして楽しめてとてもいい時間だった」という声もいただき、ありがたく感じています。私は個人的には、保護者の皆様と一緒に創り上げるという側面は、この中学生年齢の行事でもあってよいと思っています。もちろん、できる人ができることを、何も犠牲にしない、という前提のもとです。

学園祭のサポートという点でもう一つ。中学校では毎年、学園祭準備金として各ご家庭に2,000円のご負担をいただいています。このお金はすべて「東くじ」の景品代として使わせていただいています。かつては、お金ではなく、くじの景品となる品物をすべてのご家庭から提供いただいております。各ご家庭からは、必要としない文房具や玩具、お中元などの贈答品など、大変に苦勞をされて品物を提供いただき、それをくじの景品としていたのですが、ご苦勞いただく割に、生徒の喜びと合致しないケースも多くあり、保護者の皆様からのご要望として一律にお金を集めて、それで生徒が喜ぶ景品を用意してほしいとの声があり、現在の形となっています。学園祭の収支報告作成にお時間いただいておりますが、学園祭準備金についてはすべてを東くじの原資とさせていただいておりますこと、収支報告の前にあらためてお伝えさせていただきます。

いよいよ、オーケストラ鑑賞教室が来週となりました。文化的な催しが続きます。生徒の心を耕す秋であってほしいと思います。



学園祭 テーマ:Next Level ～新たなる可能性～

1・2年AB組による探究科プレゼン、CDE組の劇発表、SHOW TIME!!!!、また受付や展示案内など、様々な場面で生徒たちが主体的に生き生きと活躍する姿が見られました。今年も在校生のご家族に加え、入学希望の受験生、武蔵野東小学校の児童、そして卒業生の来校もあり、にぎやかで活気のある学園祭となっています。実行委員の生徒たちはもちろんのこと、生徒一人ひとりが、それぞれの役割を担ったことで、皆、達成感と充実感を味わうことができました。以下に各学年の生徒の感想を掲載します。

【1年生】

<AB組>○オープニングステージでは、先輩の新たな一面やESS、総務委員の活動を知ることができました。OCDEクラスの劇は日頃から練習してきた成果が存分に伝わってきて、感動しました。○探究科では、原稿の作り方、見やすいスライドの作り方、前を見て話すなど、沢山のことを学ぶことができました。○スライド作りでは、アニメーションを付けることの大切さを知ることができたとし、Chromebookの使い方も友達に教えて貰ったので分かるようになりました。○展示作品では、自分以外の人と作品を見ることで、今まで自分では思いつかなかったような考えが見つけれられてよかったです。○実行委員の企画チームに入って、スタンプラリーの景品作りが大変でしたが、やり切った達成感が残りました。○中学生になって、自分から積極的に周りの友だちとかかわり、楽しんで過ごせるようになりました。

<CDE組>○劇では、台詞を覚えるのが、とても大変でした。大道具を手伝ってくれたAB組の友達、エーデルワイスと一緒に歌ってくれてありがとう。○3年生の先輩に褒められて嬉しかったです。○初めて、衣装を着たときは、かっよかったです。来年も劇を頑張りたいです。



【2年生】

<AB組>○探究科では友達の発表を聞いて自分とは違うスライドの作り方や発表の仕方を学びました。○1回目のプレゼンでは、声の大きさなど練習通りでき、顔をあげて発表できて良かったです。落ち着いて話すことを意識することができました。○人に伝えることの難しさを感じました。○スライド作りは、ポップにして工夫することが大切だと感じました。○自分の好きなことを追求することで、将来やりたいことも考えるようになりました。○10分間の時間制限のある中でプレゼンテーションを終了させるのは、難しかったです。OCDEクラスの劇発表は、2回目ということもあり、全体的に演技力が上がっていました。

<CDE組>○劇の演技で、昨年よりも感情を込めて話すことができた○最後のシーンはみんなで工夫して、お客様に喜んでもらえました。○自分の役は、悪役だったのですが、とても気に入っています。○キッチンカーのチョコバナナクレープが美味しかったです。○オープニングでは、みんなで踊って楽しかったです。○東くじは、3等があたり、去年よりも豪華な景品がもらえました。嬉しいです。

【3年生】

<AB組>○学園祭運営の立場として過ごし、充実した1日となりました。SHOW TIME!!!!のパフォーマンスでは、先輩や家族から嬉しい感想をもらえました。○朝から実行委員の仕事で充実していました。来校者の方々への挨拶を特に意識し、多くの人を楽しめている様子で嬉しかったです。SHOW TIME!!!!も多くの人が見に来られて、裏方としての仕事もやりがいがありました。○初めて東くじや模擬店の店員をしたが、お客さんが来た時や品物が売れたときのよろこびを感じる事ができた。

<CDE組>○3年間劇をやってきて緊張せずにリラックスして話すことができるようになりました。○1年生から3年生まで劇をやってきて段々うまくなっていることに気づけました。○卒業しても学園祭に来たいなあと思いました。○台詞がたくさんあって覚えるのがすごく大変だったけれど空いている時間を使って台本を覚えしました。○実習や技能の作品では、やっていくうちに上達し、自慢できる作品に仕上がりました。○学園祭当日は、輪投げをやったり、東くじをやったりして楽しめました。





11月の部活動試合結果と今後の予定

陸上競技部

●小金井市民大会（11/3 東京学芸大学グラウンド）

1年 鈴木さん 100m 12.87 優勝

硬式テニス部

●東京都中学校テニス選手権大会予選第10ブロック大会（団体の部）（11/2 小平市立第五中学校）

男子 団体戦 1回戦 対 小平五中 0-5 負 女子 団体戦 1回戦 対 福島中 2-3 負

ダンス部

●第78回全国中学校・高等学校ダンスコンクール

（11/23 日本女子体育大学総合体育館アリーナ（特設会場））

「Girl with Balloon ～バンクシー：平和への願い～」 奨励賞



バスケットボール部

●令和7年度東京都中体連101地区新人大会

兼 都大会予選（11/15 小平第四中学校）

1回戦女子 対 立川五中 17-87負

*男子は不参加

野球部

●令和7年度立川市中学校野球大会（11/3 コトブキヤスタジアム）

交流戦 対立川市合同チーム 2-1 勝

美術部

●第53回東京私立中学高等学校生徒写真・美術展 美術の部

入選 1年 小林さん 2年 田中さん 2年 牧野さん 2年 栗原さん

